

日本フンボルト協会 2017 年度第 1 回常務理事会議事録

出席者： 櫻田嘉章、廣渡清吾、縣公一郎、伊藤眞（関東甲信越支部長）、西川伸一（関西支部長）、岡林洋（同志社大学）、高橋宗五、高橋義人、高山佳奈子、竹下賢、種村眞幸、鏝田武志、伏木信次、和田肇（中部支部長）、大森晋爾（中四国支部）

日 時： 2017 年 8 月 25 日 14 時 02 分より 16 時 50 分まで

場 所： 同志社大学今出川キャンパス寧静館 5 階会議室

報告

1 総会並びに留学説明会の報告

当日の参加者は約 100 名。出席者の専門分野に偏りがある。

DAAD	30 名
医学・生命関係	35 名（医 15 名、生命 20 名）
社会・人文・工学	35 名

参加者の意見（抜粋）：

- ・分科会に対し好印象を持つ参加者が多かった。
- ・説明会に来ることで留学についての考えが大きく変わった
- ・フンボルトの奨学金が単なる奨学金ではなく様々な支援があることが分かった

総会の会計報告

総経費から参加費で賄える金額を引いた金額を協会予算から支出した。

2 廣渡前理事長による協会運営に関する引き継ぎ（別紙「前理事長の申し送り事項」参照）

3 役割分担

- 事務局長 未定
- 渉外・総務 縣公一郎
- 本部との連絡 井田 良 (Vertrauenswissenschaftler)
- 財務 高橋輝暁
- HP 委員会 (7 名)
鏝田武志 (委員長)、高山佳奈子 (副委員長、文系担当)、種村眞幸 (副委員長、理系担当)
他 4 名 (高橋義人、笠井 修、小林直人、居城邦治)
- 留学説明会 鏝田武志 (理系)、和田肇 (文系)
- 書記 高橋宗五
- 特任事項担当 なし

4 来年度の総会と留学生説明会

- ・ DAAD 東京事務所長 Mahnke 氏から是非出席したい意向が伝えられ、ドイツ大使の都合を考慮して 2018 年 6 月 2 日 (土) に決定。

・京都大学で総会と留学説明会を開催

場所は法学部等の教室を使用。パーティーは時計台のラトゥールが空いており仮予約済み。

立食パーティー形式。会場責任者は高山佳奈子（京都大学法学部）常務理事。

今年度の反省から、日時を半年前に決め、速やかに準備にとりかかるために、12月の常務理事会で、総会当日の件について最終的な決定をする。

フンボルト財団からの支援金の位置づけ

- ・参加者を増やすために、総会と留学説明会を同日に行う。
- ・今後も財団からの支援金が期待できるか不透明であるが、説明会参加者支援（一人当たり€ 25）の支援金を申請する方向で検討する。

5. 協会財政について

以下の4つの問題点が指摘され、意見交換が行われた：

- 1 会員数拡大の見通しは立っていない。
- 2 予算シミュレーションから明らかなように財政は赤字基調であり、繰越金がないとやっていけないが、その繰越金も減少傾向にある。
- 3 懇親会を独立採算制とし協会会計本体から分離する案を検討する。
- 4 フンボルト財団からの留学説明会支援金との関係で、総会と留学説明会を分離開催する可能性を探る。→ 分離開催については、今後の推移をみて判断する。

6. 支部からの報告

関東甲信越支部（伊藤眞先生）

3月に支部総会を開催

9月9日に支部幹事会を開催予定

3月10日に支部総会を開催予定

関西支部（西川伸一先生）

臨時総会を開催。

細野 眞会員（Nuklearmedizin）・近畿大学医学部

三木順子会員（美学）・京都工芸繊維大学の両氏を新支部理事に選出

2月4日に支部総会

中部支部（和田肇先生）

幹事が新しくなった

9月10日に支部総会を開催予定。三重大学の阿部純義さんに講演を依頼。

中四国支部（大森晋爾先生）

120名の会員がいるも支部活動は休眠状態。「寄稿集 Vol.2」を今年度に刊行した

7. 第2期日本研究奨学金（仮称）プロジェクト（別紙資料参照）

本奨学金について審議され、以下の点が了承された：

- ・寄付に対して免税措置が講ぜられるよう、様々な方策を探る。
例えば、外部団体と連携して本奨学金事業を行うなど。
- ・免税措置が取られない場合でも、本奨学金の構想を進める。
- ・本奨学金プロジェクトについて、縣、伊藤各副理事長と関さんで具体的な進め方を検討し、次回常務理事会に諮ることになった。

その他

1. 「博士号同等審査」について

フンボルトの研究奨学金への応募の条件として博士号がない場合には「博士号同等の学力」が求められるが、その意味について財団の見解が明らかになった。

- ・教員になってから12年。第一学位（学士号）取得から16年。これを協会のHPに掲載する。

2. 賛助会員

以下の2名の方より賛助会員としての参加希望の申し出があり、来年度の総会で承認することとなった。

片岡 一則先生（東京大学政策ビジョン研究センター）

河合 眞紀先生（自然科学研究機構分子化学研究所）

3. テレビ会議について

- ・常務理事会の開催方法として、テレビ会議が検討されているが、開催方法として拠点を、
 - 1 案 関西と関東甲信越（関西は神戸、関東は早稲田で可能）
 - 2 案 関西、中部、関東甲信越（中部は名大で可能）
 - 3 案 7支部すべて

に設置する案について、意見交換され、引き続き検討することになった。

- ・テレビ会議方式については、常務理事の出欠状況などを踏まえ、理事長が判断することになった。

以上